

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
作業療法学特論		必修	1	4	集中
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
志茂 聡 他	C306	sshimo	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	4 年生後期までに授業、臨床実習で学習した内容の要点を整理し、作業療法学というマクロ的視点で体系化すると同時に各分野のミクロ的知識を確認する。作業療法学の一通りの学習、実習が終了している学生が対象であるので、実務経験が 5 年以上ある教員による実践的講義を行う。本科目では問題解決型学習に基づくアクティブラーニングを実施する。したがって、各学生の主体的かつ積極的な学習姿勢を重視・期待する。学習過程で疑問が生じた場合は、Teams などを通じて随時担任および各専門分野の教員に質問し、早めに解決することが必要となる。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	集中講義であるので、日程は未定。掲示等に注意すること。				
教科書	これまでに使用した教科書				
参考書	これまでに使用した配布プリント				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	作業療法学の基本的知識を総合的に理解する。			HSU(1)~(5)、OT(1)~(3)	
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション 基礎医学 (解剖学、生理学等) や作業療法に関する重要項目を学ぶ。 4/8 (水) 2 限	[担当] 主担当及び下記担当 教員、志茂聡	対面	シラバスを確認する 配布資料等で予習・復習	1
2	基礎医学 (病理学、臨床医学等) や作業療法に関する重要項目を学ぶ。 4/15 (水) 2 限	[担当] 主担当及び下記担当 教員、志茂聡	対面	シラバスを確認する 配布資料等で予習・復習	1
3	基礎医学 (解剖学、運動学等) や作業療法に関する重要項目を学ぶ。 4/22 (水) 2 限	[担当] 主担当及び下記担 当教員、小川麻里子	対面	シラバスを確認する 配布資料等で予習・復習	1
4	作業療法評価に関する重要項目を学ぶ。 10/29 (木) 2 限	[担当] 主担当及び下記担当 教員、向山秀	対面	シラバスを確認する 配布資料等で予習・復習	1
5	脳血管障害等に関する作業療法の重要項目を学ぶ。 11/5 (木) 2 限	[担当] 主担当及び下記担当 教員、小沢健一	対面	シラバスを確認する 配布資料等で予習・復習	1
6	地域作業療法や身体障がいに関する作業療法の重要項目を学ぶ。 11/19 (木) 2 限	[担当] 主担当及び下記担当 教員、浅野克俊	対面	シラバスを確認する 配布資料等で予習・復習	1
7	小児・発達領域に関する作業療法の重要項目を学ぶ。 11/26 (木) 2 限	[担当] 主担当及び下記担当 教員、渡辺俊太郎	対面	シラバスを確認する 配布資料等で予習・復習	1
8	老年・精神障がい領域に関する作業療法の重要項目を学ぶ。 12/4 (金) 2 限	[担当] 主担当及び下記担当 教員、榎田哲弥	対面	シラバスを確認する 配布資料等で予習・復習	1
試	筆記試験 評価のポイント参照				

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療法学科】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	15	0	0	0	0	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	3	0	0	0	0	3
	問題を発見・解決する力	2	0	0	0	0	2
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点				
試験	①	✓	国家試験と類似の形式等で試験を行う。評価割合 100%とする。出題内容は国家試験問題およびその改変問題、類似問題等とする。			教科書、配布資料をもとに解説を行う。	
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	榎田哲弥、小沢健一、浅野克俊、小川麻里子、渡辺俊太郎、向山秀						
教員の実務経験	各教員は各専門分野における専門家としての実務経験をもつ。						
実践的授業の内容	「根拠に基づく医療」の実践に必要な不可欠な、基礎医学全般の基礎的知識および論理的思考力を教授する。						
そ の 他							